

【調査実施者】

福島県こども未来局

こども・青少年政策課

福島県

こどもまんなかアンケート

こども・若者のみなさんが自分らしく幸せに成長して暮らしていける「**こどもまんなか社会**」を、福島県はその主役となるみなさんと一緒に作っていきたくて考えています。

このアンケートは、県内の小学6年生、中学2年生、高校2年生を対象に、みなさんの声を集め、こどもまんなか社会を実現するための計画「**福島県こどもまんなかプラン**」に取り入れることを目的としています。そして、こども・若者が幸せになれるよう支援する「**こども施策**」を、みなさんの声とともに進めていきます。

アンケートでは、あなたのお名前はお聞きしません。また、誰がどのように答えたのかはわからない仕組みになっています。安心して、あなた自身の考えをありのままにお答えください。

◇回答はこちらの
ウェブフォームから

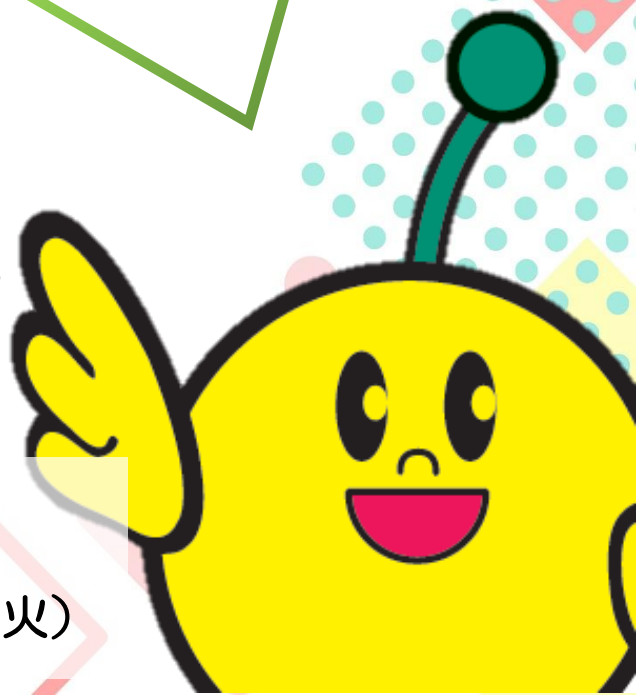


または

<https://forms.gle/n43PSSQjufD2gzjR7>

回答期限

令和6年9月24日（火）





わたしたちの声は
どんなふうに使われるのかな？

福島県のこどもまんなかを進める
いろいろな取組に活用されるよ！
例をいくつか紹介するね。



1 「こどもまんなか社会」に向かっているか確認する「指標」にします

たとえば、学校のテストでは、みなさんがどのくらい授業の内容を理解できているか評価するために点数をつけますよね。県の施策も、どのくらい成果が出ているのかチェックするため、目標を決めて、その目標にどれだけ近づいているかで評価しています。

この調査で集めたみなさんの声は、こどもまんなか社会にどれだけ近づいているかを確認するための「指標」として、県のこども施策が本当にみなさんのためになっているかを測る「ものさし」として活用します。こうすることで、こどもまんなか社会に向かっているのか、みなさんや県民の誰もがわかるようにします。



目標

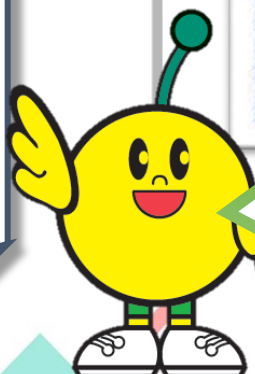
「自分は幸せだ」
と答えたこどもの割合

★みなさんの声は「福島県こどもまんなかプラン」の指標を設定するのに活用されます。県はこの目標を達成するため、いろいろなこども施策に取り組みます。

2 「こどもまんなか社会」に向けた課題を発見するため、結果を分析します

こどもまんなか社会の実現に向けて、みなさんや地域が抱えている課題をひとつひとつ解決していく必要があります。そのために、まずはどんな課題がどこにあるのかを見つけなければなりません。

そこで、みなさんの声を集計した結果をいろいろな角度から分析することで課題を明らかにし、それを解決するために必要な取組を立案・実行していきます。このように、みなさんの声ヒントになって、こども施策が進んでいくのです。



A 地方

B 地方

C 地方

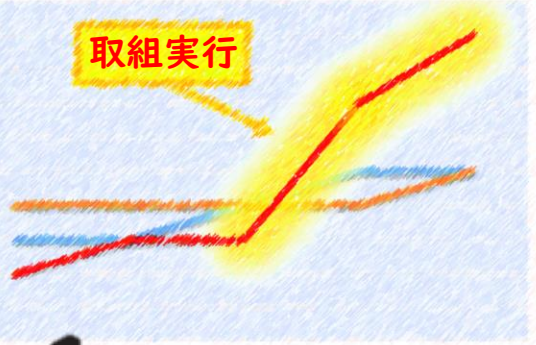
★たとえば上のグラフのように、みなさんの声を地方ごとに分けて比べてみて、ある地方だけとても低かったとしたら、そこで何か問題が起こっていると予想できるね。

県の取組は、県民のみなさんに納めていただいた税金を使って行っていますので、無駄づかいはできません。

そこで、少ない予算で効果的に取組を行う方法があります。まず、一部の地域に限って実験的に取組を行います。それから取組を行った地域と行わなかった地域とを比べ、効果があると確認してから、他の地域にもこの取組をひろげていくのです。

みなさんの声が広く集まることで、この方法がこども施策にも使えるようになります。そして、こども施策を無駄なく効果的に進められるようになるのです。

取組実行

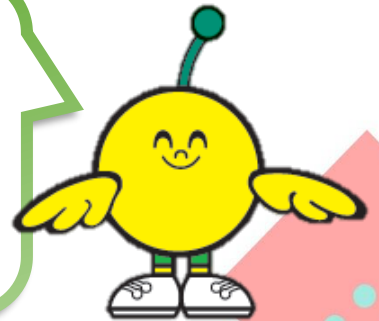


★赤の地域でだけ取組を行ってみたら、他の地域よりも良くなっていることがわかったよ。これなら、他の地域でこの取組を進めても効果がありそうだね。



わたしたちの声は、わたしたちがもっと幸せになれるよう、こども施策をどんどん良くしていくために使われるんだね。

そのとおりです！こども施策はこども・若者のみなさんのために行われるものですから、みなさんの声を聞き、みなさんに評価してもらいながら進めていくことがとても大事なのです。



それじゃあ、ぼくらの声はなるべくたくさん集まった方が良いよね。

はい、そうなんです。本当にみなさんのためになるこども施策としていくため、そしてこどもまんなかの県づくりを進めていくため、福島県はみなさんの声をしっかりと受け止めていきたいと考えています。そのためには、みなさんからのたくさんの声が必要です。どうかみなさん、アンケートにご協力ください。

